



平成26年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 横浜冷凍株式会社

上場取引所 東

コード番号 2874 URL <http://www.yokorei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 俊雄

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部 部長 (氏名) 鈴木 大介

TEL 045-210-0011

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第1四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第1四半期	36,374	20.7	1,857	53.3	1,850	42.6	1,102	38.4
25年9月期第1四半期	30,142	△5.0	1,211	9.7	1,297	13.1	796	20.1

(注) 包括利益 26年9月期第1四半期 1,140百万円 (15.7%) 25年9月期第1四半期 985百万円 (64.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第1四半期	21.31	18.65
25年9月期第1四半期	15.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第1四半期	107,021	58,782	54.5	1,126.61
25年9月期	97,593	58,159	59.1	1,114.84

(参考) 自己資本 26年9月期第1四半期 58,298百万円 25年9月期 57,689百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	63,805	13.5	2,400	4.8	2,440	1.7	1,320	△11.1	25.51
通期	130,000	9.5	4,500	20.7	4,500	18.2	2,500	8.3	48.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期1Q	52,450,969 株	25年9月期	52,450,969 株
② 期末自己株式数	26年9月期1Q	704,037 株	25年9月期	703,823 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期1Q	51,747,040 株	25年9月期1Q	51,748,113 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きを終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は円安・株高基調が伸展し、企業業績は回復に向けて着実な足取りを見せ、足元の景況感も明るさを増して来ました。先進国経済の緩やかな回復によって輸出も持ち直し傾向にあり、個人消費も底堅く推移しました。しかしながら、今後予定されている消費税増税による駆け込み需要とその反動の影響、および新興国経済の成長鈍化や、引き続き予断を許さない欧州債務問題の帰趨等、依然として先行き不透明な要因が潜在しています。

このような状況のもと当社グループは、平成23年11月に発表した第四次中期経営計画（3ヵ年）の最終年度を迎え、事業運営方針の柱である「コア事業の強化」と「成長力の強化」に基づき、業績の回復、向上に努めております。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高36,374百万円（前年同期比20.7%増）、営業利益1,857百万円（前年同期比53.3%増）、経常利益1,850百万円（前年同期比42.6%増）、四半期純利益1,102百万円（前年同期比38.4%増）の大幅な増収増益となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(冷蔵倉庫事業)

荷動きの回復により減少傾向にあった在庫水準は概ね底打ちし、当期はほぼ横ばいで推移しました。主要施策の「物流アウトソーシングサービス」および期初に新設した物流通関部は、計画通りに推移して通関収入や流通加工収入の増加に貢献しました。また前期に実施した産地工場の凍結能力増強工事は、凍結量を増加させ業績に寄与しております。

貨物取扱量の状況は農産物の取扱が増加したことで、入庫取扱量は約9千トンの増加（前年同期比2.9%増）となりましたが、出庫取扱量は横ばいの約0.3千トンの増加（前年同期比0.1%増）、平均保管在庫量は約22千トンの減少（前年同期比2.8%減）となりました。

また、タイ国の連結子会社タイヨコレイ(株)は引き続き順調に稼働し、増収増益で推移しました。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の業績は、売上高は5,933百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は1,722百万円（前年同期比11.1%増）となりました。

(食品販売事業)

水産物は、主力商材が高値で推移する中、回転率を重視した販売に徹した結果、取扱量は横ばいながら大幅な増収増益となりました。品目別で見ますと、伝染病の影響で高値の養殖エビは、買付地域を分散させる等のリスク回避により増収増益、鮭鱒類は取扱量を伸ばし大きく売上に寄与しました。また、輸入量減少が見込まれるタラバガニは、年末需要期に合わせた早期、適量買付によって増収増益、販売環境が好転したホタテも大きく利益に貢献しました。4年連続不漁のウナギは国産活鰻の取扱を拡充させ収益の改善を図りました。畜産物は、各商材が高値で推移する中、適正在庫に基づき販売した結果、カテゴリ全体で増収増益となりました。特にポークは米国、E.U、チリからの輸入品を中心に取扱量を増加させ、大幅な増収増益となりました。農産物は、販路拡大により主力の馬鈴薯の取扱を増加させ、増収増益となりました。

以上の結果、食品販売事業の業績は、売上高は30,433百万円（前年同期比24.8%増）、営業利益は619百万円（前年同期比465.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ9,428百万円増加し、107,021百万円となりました。これは主に商品が6,486百万円、受取手形及び売掛金が3,063百万円、有形固定資産が1,856百万円増加したことや、有価証券が2,000百万円減少したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末と比べ8,805百万円増加し、48,238百万円となりました。これは主に借入金8,191百万円、支払手形及び買掛金が785百万円増加したこと等によるものです。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ622百万円増加し、58,782百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」)は、前連結会計年度末に比べ2,673百万円減少の3,485百万円となりました。当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な内容は次のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、8,181百万円の資金の減少(前年同四半期は191百万円の資金の増加)となり、その主な内容は税金等調整前四半期純利益1,850百万円、減価償却費846百万円及び仕入債務の増加額785百万円による資金増加と、たな卸資産の増加額6,429百万円、売上債権の増加額3,066百万円などの資金減少によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,164百万円の資金の減少(前年同四半期は1,175百万円の資金の減少)となり、その主な内容は有形固定資産の取得による支出2,027百万円などによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、7,673百万円の資金の増加(前年同四半期は1,465百万円の資金の増加)となり、その主な内容は金融機関からの借入の純増額8,212百万円による資金の増加と、配当金の支払額517百万円による資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の連結業績予想につきましては、「平成25年9月期 決算短信」(平成25年11月14日付)で公表した数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,159	3,485
受取手形及び売掛金	16,035	19,099
有価証券	2,000	—
商品	14,177	20,663
繰延税金資産	624	368
その他	360	1,098
貸倒引当金	△29	△34
流動資産合計	37,328	44,681
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,182	24,942
機械装置及び運搬具(純額)	4,699	4,978
土地	19,106	19,100
リース資産(純額)	175	170
建設仮勘定	1,937	3,783
その他(純額)	302	283
有形固定資産合計	51,403	53,259
無形固定資産		
のれん	696	658
その他	1,627	1,668
無形固定資産合計	2,324	2,326
投資その他の資産		
投資有価証券	4,993	5,137
長期貸付金	87	179
繰延税金資産	33	45
その他	1,465	1,467
貸倒引当金	△43	△78
投資その他の資産合計	6,537	6,753
固定資産合計	60,265	62,339
資産合計	97,593	107,021

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,515	7,300
短期借入金	5,145	13,273
1年内返済予定の長期借入金	2,201	1,954
リース債務	72	72
未払法人税等	1,398	509
賞与引当金	639	122
役員賞与引当金	30	7
その他	3,346	4,559
流動負債合計	19,348	27,800
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	7,000	7,000
長期借入金	11,470	11,780
リース債務	110	104
繰延税金負債	357	399
退職給付引当金	636	649
役員退職慰労引当金	331	325
資産除去債務	105	105
その他	73	73
固定負債合計	20,085	20,438
負債合計	39,433	48,238
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,065	11,065
資本剰余金	11,109	11,109
利益剰余金	35,335	35,920
自己株式	△521	△521
株主資本合計	56,989	57,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	734	812
繰延ヘッジ損益	5	△35
為替換算調整勘定	△39	△53
その他の包括利益累計額合計	700	724
少数株主持分	469	483
純資産合計	58,159	58,782
負債純資産合計	97,593	107,021

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
売上高	30,142	36,374
売上原価	27,193	32,592
売上総利益	2,949	3,781
販売費及び一般管理費	1,737	1,923
営業利益	1,211	1,857
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	26	28
保険配当金	2	2
固定資産売却益	43	0
その他	124	35
営業外収益合計	198	70
営業外費用		
支払利息	64	53
固定資産除売却損	18	11
その他	29	13
営業外費用合計	112	78
経常利益	1,297	1,850
税金等調整前四半期純利益	1,297	1,850
法人税、住民税及び事業税	392	469
法人税等調整額	91	259
法人税等合計	483	728
少数株主損益調整前四半期純利益	814	1,121
少数株主利益	17	19
四半期純利益	796	1,102

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	814	1,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	123	77
繰延ヘッジ損益	38	△40
為替換算調整勘定	9	△18
その他の包括利益合計	171	18
四半期包括利益	985	1,140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	965	1,126
少数株主に係る四半期包括利益	20	13

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,297	1,850
減価償却費	849	846
のれん償却額	38	38
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△496	△516
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20	△22
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	9	13
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△5	△6
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9	39
受取利息及び受取配当金	△28	△31
支払利息及び社債利息	64	53
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,690	△3,066
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△366	△6,429
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,016	785
未払費用の増減額 (△は減少)	79	382
その他	562	△806
小計	320	△6,868
利息及び配当金の受取額	28	30
利息の支払額	△67	△47
法人税等の支払額	△88	△1,294
営業活動によるキャッシュ・フロー	191	△8,181
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,511	△2,027
有形固定資産の売却による収入	403	0
投資有価証券の取得による支出	△1	△15
貸付けによる支出	△68	△96
貸付金の回収による収入	29	32
その他	△27	△58
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,175	△2,164
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	660	8,140
長期借入れによる収入	2,100	832
長期借入金の返済による支出	△748	△760
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△517	△517
社債の償還による支出	△7	—
その他	△20	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,465	7,673
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	482	△2,673
現金及び現金同等物の期首残高	2,700	6,159
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,182	3,485

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,750	24,388	2	30,142	-	30,142
セグメント間の内部売上高 又は振替高	411	-	11	422	△422	-
計	6,161	24,388	14	30,564	△422	30,142
セグメント利益	1,549	109	3	1,662	△450	1,211

(注) 1.セグメント利益の調整額△450百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要な減損損失の計上はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,933	30,433	7	36,374	-	36,374
セグメント間の内部売上高 又は振替高	491	-	11	502	△502	-
計	6,424	30,433	19	36,877	△502	36,374
セグメント利益	1,722	619	8	2,351	△493	1,857

(注) 1.セグメント利益の調整額△493百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報
- (固定資産に係る重要な減損損失)
重要な減損損失の計上はありません。
 - (のれんの金額の重要な変動)
該当事項はありません。
 - (重要な負ののれん発生益)
該当事項はありません。